

富山経協



カトレヤ（解説・16ページ）

CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
富山県経営者協会会長、日本経団連会長、富山県知事
- 5 富山経協 新春アンケート（2014年の景気予測）
- 10 新春互礼会（報告）
- 10 業務日誌
- 11 Keikyo行事レポート
- 11 参加者NOTES
- 15 調査報告 2013年冬季賞与支給結果（最終結果）
- 15 会員の動き
- 17 景況指標
- 18 おしらせ・事業予定



新年のご挨拶

一般社団法人 富山県経営者協会

会長 稲垣 晴彦

「千年の堂塔は樹齢千歳の樹で造られている」これは奈良法隆寺の大工の棟梁で五重塔などの解体修理に携わり、薬師寺西塔の造営にもあたられた西岡常一さんが生前よくおっしゃっていたことです。また、棟梁は古来からの口伝として、使用する木材については、「木を買わずに山を買え」とも伝えておられます。これは強靱な建物を造るには樹齢の古い樹を使うだけでは十分でなく、木々が生育してきた地勢や地形、風向や日射などの様々な環境要件から生み出されたそれぞれの木の癖や個々の木の部分部分の癖を構造体の力学的な要件に適合させて用いていく、いわゆる「木組み」が必要であるということのようです。古来からの我が国独自の匠の知恵と技術の素晴らしさが現れている言葉と思います。

さて、現在の我が国の経済状況は一昨年の安倍政権誕生以来、大幅な金融緩和や円安に振れた為替の影響による株式市場など金融経済の好転が昨年半ばくらいから实体经济にも好影響を及ぼしつつあり、地域や業種、企業規模に偏りがあるものの少しずつ改善の兆しが見られているようです。しかし、この「失われた20年」に落ち込んだ我が国の国際的なステータスを取り戻すには十分な勢いとは思えません。M&Aやリストラクチャリング、様々な金融手法に止まらず、先に挙げた例に見られる様な企業現場での匠の技に代表される技術や知識の再構築こそが不可欠であると思います。

西岡棟梁は更に「木の癖組は工人の心組」という言葉も遺しておられます。企業の現場で価値創造に携わる個々人の個性や特性を把握して、その能力と意欲を継続的に向上させていく組織や制度の整備も重要なことと思います。

富山県経営者協会としては、上に述べましたような会員企業の現場力の向上やそれを促進する仕組みや制度作りのお手伝いを通して、皆様のお役に立てるよう本年も活動してまいります。

来年には、富山県民が待ち兼ねていた新幹線がついに開通します。富山県という地域社会の新しい形をつくるきっかけとして大いに期待しておりますが、経営者としては、自らの仕事を通じて未来の地域づくりの一助となっていくという責任と自覚を持って業務にあたって頂きたいと思います。

最後に会員企業の皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



経済の好循環を 実現する

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 米倉 弘昌

安倍内閣による一連の経済政策が功を奏し、底堅い消費など、内需に牽引される形でわが国経済は回復を続けています。また、復興特別法人税の前倒し廃止の決定など、企業の活性化に資する施策も講じられようとしております。2014年は、まさにデフレ脱却と本格的な経済再生の好機であり、何としても、持続的な経済成長の礎を確固たるものとし、世界から期待され、信頼される、豊かで活力に溢れる新たな日本の創生に向けて踏み出したいと考えております。

このために何よりも重要なのは、経済界の取り組みでございます。実際に経済を成長させ、国民に豊かさをもたらすことができるのは、他ならぬ民間企業であります。我々こそが、成長戦略の主役であるとの強い気概を持って、新たな成長の機会の創出に全力で取り組み、日本経済の再生をリードしていかねばなりません。

我々は、「行動する経団連」として、民主導の力強い持続的な経済成長の実現に邁進する所存でございます。政策提言を強化するとともに、「未来都市モデルプロジェクト」を通じてイノベーションを促進し、グローバル人材の育成や女性の活躍支援に向けた活動を積極的に展開する。そして、企業業績の改善が、投資の拡大と雇用の創出、そして賃金の引き上げにつながる「経済の好循環」をつくり出すべく努力していく決意であります。

政府・与党においては、震災復興をさらに加速していただくとともに、企業と個人が持てる力を最大限発揮できるよう、大胆な規制・制度改革、エネルギー供給の安定と経済性の確保、TPP、日EUをはじめとする経済連携の実現、多様な人材が活躍できる環境の整備、成長に資する税・財政・社会保障改革、道州制の推進など、必要な政策を、力強く、スピーディに実行していただきたいと考えております。



年頭の辞

富山県知事

石井 隆一

明けましておめでとうございます。西暦2014年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

2004年11月の知事就任以来、多くの県民の皆様のご支援とご支持をいただきながら、ふるさと富山県の発展と県民の皆様の幸せのために邁進してまいりました。

私の変わらぬ目標は、県民の皆様一人ひとりが希望と誇りを持って、輝いて生きられる「元気な富山県」を創ることです。このため、「活力」「未来」「安心」を柱とする60の基本政策と、これらを支える重要政策「人づくり」の推進に積極的に取り組んでいるところです。

まず、北陸新幹線については、長野・金沢間の開業がいよいよ約1年2カ月後に迫るなか、開業効果を最大限に高めるための戦略的な取組みが積極的に展開されるとともに、並行在来線の開業に向けた準備も着実に進んでいます。また、富山きときと空港や伏木富山港の機能充実が図られるなど、陸海空の社会資本整備が大いに進展しています。

さらに、医薬バイオ・航空機・ロボット・次世代自動車・環境エネルギーなどの新たな成長産業への挑戦、ものづくり産業の高度化など、本県を大きく飛躍させる取組みが広がっています。

子育て支援については、社会全体で子育てを支援する体制が整ってきており、ふるさと教育、ふるさと文学の振興等にも力を入れながら、真の人間力を育む教育が展開されています。

また、医療・福祉の充実、環境の保全、東日本大震災の教訓をふまえた防災対策の拡充など、健康で快適に安心して暮らせる地域づくりが進んできました。

さらに、こうした取組みを通して、夢・情熱・志を持って、富山県の新たな未来を切り拓く「人づくり」が着実に進展しています。

本年は、北陸新幹線の開業に向け、官民一体となった取組みにラストスパートをかけるとともに、国の成長戦略と相まって、本県経済の活性化を図っていかなければなりません。今後とも、県民の皆さんの知恵と力を結集して、人が輝く「元気とやま」の創造に努めてまいります。

新年にあたり、富山県経営者協会の限りないご発展と稲垣会長はじめ会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、年頭のごあいさつといたします。

2014年の景気予測

消費税増税の反動減はあるが
追加経済対策等で堅調に推移

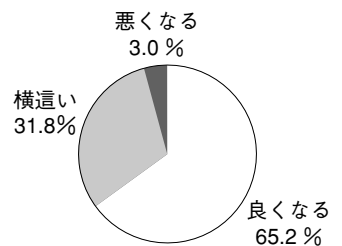
当協会は、理事、監事及び幹事を対象に「新春アンケート」を行ない、2014年の景気予測等について尋ねた。66人から回答があった。

アンケート結果の概要は以下の通り。個々の回答は6～9頁に掲載した。

1. 2014年の景気予測

「良くなる」が43人（65.2%）で最も多く、「横這い」が21人（31.8%）で続き、「悪くなる」は2人（3.0%）と少なかった。

	人数(人)	割合(%)
良くなる ↗	43	65.2
横這い →	21	31.8
悪くなる ↘	2	3.0

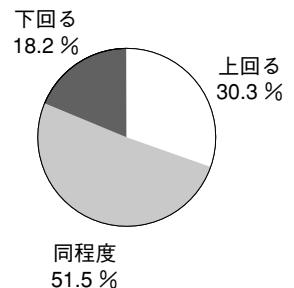


消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減はあるものの、政府の追加経済対策等により全体としては堅調に推移すると予測した回答者が多かった。

2. 2014年の日経平均株価予想

「同程度」が34人（51.5%）で最も多く、「上回る」が20人（30.3%）、「下回る」が12人（18.2%）と続いている。

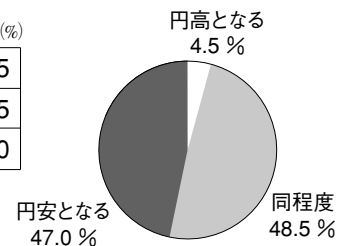
	人数(人)	割合(%)
上回る ↗	20	30.3
同程度 →	34	51.5
下回る ↘	12	18.2



3. 2014年の対ドル円相場予想

「同程度」が32人（48.5%）で最も多く、「円安となる」が31人（47.0%）で続き、「円高となる」は3人（4.5%）と少なかった。

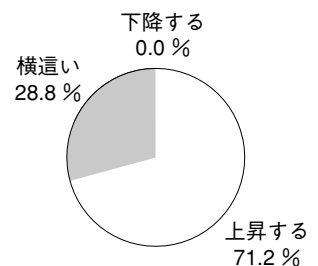
	人数(人)	割合(%)
円高となる ↗	3	4.5
同程度 →	32	48.5
円安となる ↘	31	47.0



4. 2014年の原油価格（WTI）予想

「上昇する」が47人（71.2%）と最も多く、「横這い」が19人（28.8%）で続き、「下降する」という回答はなかった。

	人数(人)	割合(%)
上昇する ↗	47	71.2
横這い →	19	28.8
下降する ↘	0	0.0



No.	企業名	回答者	2014年の景気予測
1	株式会社アイザック	代表取締役社長 石崎 由則	⇒ 来年4月の消費税増税の影響による景気後退は一時的なものに留まり、成長率は鈍化するものの1年後には景気後退局面入りは避けられるものと予想する。
2	アイシン軽金属株式会社	代表取締役社長 河原 嘉史	↘ 消費税増税後の需要減や人口減の進展、また自動車関連企業等の海外現地生産化加速などの影響により、国内市場の縮小が更に進展する見通し。
3	あおぞら経営税理士法人	代表 松村 篤樹	↗ アベノミクスと消費税増税の綱引き。所得の海外移転は進むが、円安・投資促進・低金利のもと企業業績は安定し、所得・雇用は改善の方向に進む。
4	朝日印刷株式会社	代表取締役社長 濱 尚	↗ 消費税増税による反動はあるものの、後半以降は内需主導の緩やかな回復が見込まれる。
5	アルビス株式会社	代表取締役社長 大森 実	↗
6	株式会社インテック	代表取締役社長 滝澤 光樹	↗ 個人消費の増加や雇用情勢の改善等で回復。4～6月期は消費税率引き上げの反動減はあるが、その後は緩やかに拡大。
7	株式会社大谷工業	常務取締役 平野 啓次	↘ 消費税率引き上げの影響と輸出の増加のバランスで景気は悪くなるが、後退期とはならないと見込む。
8	株式会社岡部	代表取締役 稲積 欣治	↗ 輸出、金融相場から内需による景気拡大へ広がることになる。業種によって人手不足、物不足の解消は正が求められることになる。
9	川田工業株式会社	専務取締役 川田 紳一	↗ アベノミクス、東北復興、2020年東京五輪、海外からの観光客の増加等、ムードのみならず実質的にも上向くと思う。
10	関西電力株式会社 北陸支社	支社長 吉津 洋一	⇒ 消費税増税によるマイナス要因はあるものの、アベノミクス効果の着実な浸透が期待できることから、景気は総じて堅調に推移するものと予測。
11	北日本放送株式会社	代表取締役社長 横山 哲夫	⇒ 消費税率の引き上げはあるが、景気対策により当面は景気の腰折れはない。
12	キタムラ機械株式会社	代表取締役社長 北村 彰浩	↗ 消費増税に伴い、住宅投資や設備投資の駆け込み需要が期待できることと、公共投資の大幅増加により、景気を2～3%程度押し上げるものと予想します。
13	株式会社廣貴堂	代表取締役 塩井 保彦	↗ 消費増税前の駆け込み需要も見込まれ、年度内の日本経済は高めの成長が続くと予想。設備投資は増加基調で推移すると予想。
14	コーセル株式会社	代表取締役社長 谷川 正人	↗ 円安・株高傾向が続き、米国景気も回復が見込まれ、輸出が持ち直すこと、また、個人消費の底堅い状況も加わり、企業利益改善が進み、設備投資も増加と予想。
15	コマツNTC株式会社	取締役社長 桃井 克志	↗ 消費税率アップ等のリスクはあるが、それ以上に景気は順調に上向く。一方で東アジア地域の安全保障、外交上のリスクが次第に増大していく懸念がある。
16	佐藤工業株式会社 北陸支店	執行役員支店長 池田 茂人	↗ 建設業の労務賃金の上昇等、多くの業種で所得が増える。そのため消費が活発となり、消費増税の影響を低減すると思う。
17	三協立山株式会社	代表取締役会長 藤木 正和	⇒ 消費増税の反動減が懸念されるが、外需の改善や復興需要などの公共投資に加えて、民間設備投資の活性化が予測され、全体としてはやや上向く。
18	JFEマテリアル株式会社	代表取締役社長 鷲尾 勝	↗ アメリカの金融引き締めに伴い、アメリカの景況感が向上し、便乗により日本の経済も活性化する。
19	新日本海重工業株式会社	代表取締役社長 釣谷 邦男	⇒ 消費税の増税による一時的な景気の落ち込みは避けられない。また業種間の業績格差が、一層拡大する。
20	株式会社スギノマシン	代表取締役会長 杉野 芳宏	↗ 東京オリンピック開催までの整備事業などで首都圏を中心とした景気回復が見込まれる。その波及効果が地方にまで及ぶか？一極集中は益々顕著になるだろう。
21	第一薬品工業株式会社	代表取締役会長 石黒龍太郎	⇒ 大企業は引き続き好調に推移すると思われるが、中小企業では現状維持もしくは微増にとどまる。安倍政権の舵取りが順調に行われることが条件である。
22	株式会社大和 富山店	取締役店長 村田 雅光	⇒ 大手輸出産業の業績拡大は継続するが中小内需産業はコスト上昇、増税後の影響等により厳しさが継続。家計所得も上昇せず消費の本格回復には時間を要す。
23	株式会社タカギセイコー	代表取締役社長 笠井 千秋	↗ デフレ脱却を目指した経済政策の真価が問われる年であり、消費税増税による負の影響をどのくらい押し止めることが出来るかが鍵。
24	武内プレス工業株式会社	代表取締役社長 武内 繁和	↗ 消費税率のアップで個人消費は一時的に冷え込むが、アベノミクス効果によるデフレ解消、為替の安定が寄与し、景気は緩やかに拡大すると期待する。
25	立山科学工業株式会社	代表取締役社長 水口昭一郎	↗ 消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要とその反動があるものの、米国とアジアを中心とした緩やかな景気回復に牽引される。
26	立山黒部貫光株式会社	代表取締役社長 佐伯 博	⇒ 消費税率アップに伴い、個人消費の低下が懸念される。
27	立山製紙株式会社	代表取締役会長 池田 恒彦	⇒ アベノミクス効果で景気回復の兆しはあるものの、円安・消費税アップに絡み諸物価が上昇し、中小企業は製品の価格転嫁が進まず、賃金上昇も当面難しい。
28	田中精密工業株式会社	代表取締役社長 執行役員 岩井 逸雄	↗ アベノミクスにより、国民の気持ちも前向きになってきており、給与も上昇傾向となり、デフレを脱却できると予想され、景気は上向きになると思います。
29	株式会社チューエツ	代表取締役社長 川上 秀夫	↗ 世界経済の成長エンジンは東南アジアとなり、地理面及び技術的総合力の完成度の優位性により輸出型・海外進出型企業が牽引、一方、内需型は苦戦する。
30	津根精機株式会社	代表取締役社長 津根 良史	⇒ 円安基調による輸出面の堅調が期待できる一方で、消費税引き上げなど不透明感もあり、全体としては横這いと予想。
31	テイカ製薬株式会社	代表取締役社長 松井 竹史	↗ 自動車、機械、電子部品が牽引し、建設が体力をつけ、化学薬品は堅調で、全体的には景気は上向く。消費税増税の影響も回復する。
32	藤堂工業株式会社	取締役会長 櫻田 喜春	⇒ 米国経済の回復と共に緩やかに好転すると思われるが、消費税増税やTPPなどの影響により不透明感がある。
33	東邦工業株式会社	代表取締役 斉藤 大助	⇒ オリンピック関連の投資が動き出し、景況感は前向きになる。但し、一部の建設関連のみか？その他製造業の需給ギャップは埋められていないので、本格的な改善は先になる。

日経平均株価	円相場	原油価格	北陸新幹線開通で期待すること	企業名	No.
⇒	⇒	⇒	交流人口の拡大と東京本社の出先事業所等の富山への移転、設置	アイザック	1
⇒	⇒	⇒	関東圏以北の拡販活動が展開できる	アイシン軽金属	2
↗	⇒	⇒	国内外の観光客が増加し、北陸地区に対する親和性の向上	あおぞら経営税理士法人	3
↗	↘	⇒	富山と関東圏双方で人が交流することによる購買力の活性化	朝日印刷	4
↗	⇒	↗		アルビス	5
↗	↘	⇒	首都圏とのアクセス向上による人的交流、ビジネスチャンスの拡大	インテック	6
↗	↘	↗	観光客と誘致企業の増加	大谷工業	7
↗	⇒	⇒	人の交流が拡充することにより地域の存在が高まること	岡部	8
↗	⇒	⇒	ビジネス客、観光客を引きつけられる魅力的な富山県への変身	川田工業	9
⇒	⇒	⇒	富山の知名度が上がり観光を中心とした集客につながることを期待	関西電力北陸支社	10
⇒	⇒	↗	首都圏が日帰り圏となり、業務効率が向上する	北日本放送	11
↗	↘	↘	富山県内の全駅に停車する電車を増やして欲しい	キタムラ機械	12
↗	↘	⇒	富山でしかとれない観光資源を活かし、品質向上に期待する	廣貴堂	13
↗	↘	↗	北陸地区—首都圏間のアクセス向上とそれに伴う地域、産業活性化	コーセル	14
↗	⇒	↘	逆にストロー現象で関東地域に吸い取られないようにするべき	コマツNTC	15
↗	↘	⇒	多くの県外の方々が富山に訪れてくれて富山県が活性化すること	佐藤工業北陸支店	16
↗	⇒	⇒	首都圏との観光、ビジネス等、交流人口増。それによる経済効果。	三協立山	17
↗	↗	↗	人の行き来が多くなり、観光・ビジネスチャンスが増加すること	JFEマテリアル	18
↗	↘	↗	関東圏との所要時間短縮による地域経済の活性化と市場の拡大	新日本海重工業	19
↗	↗	⇒	線香花火の例えのようにならぬよう地道な企業誘致などに力を!!	スギノマシン	20
⇒	↗	↘	現行のあさまダイヤよりも多くの最速タイプを運行して欲しい	第一薬品工業	21
↗	↘	↗	沿線地域との観光・ビジネス交流促進による交流人口増と経済効果	大和 富山店	22
↗	⇒	↘	首都圏との交流人口の拡大による地域経済の活性化	タカギセイコー	23
↗	⇒	⇒	移動時間短縮と降雪時の交通確保による北陸のイメージアップ	武内プレス工業	24
↗	↘	⇒	首都圏とのビジネス活性化と観光客の流入	立山科学工業	25
⇒	⇒	⇒	首都圏で北陸への関心が高まり、観光客が増大することを期待	立山黒部貫光	26
⇒	⇒	⇒	諸々の経済効果は期待されるが、更に金沢以西の早期着工・開通が望まれる	立山製紙	27
↗	↘	⇒	東京・長野方面からの観光客の増加を期待します	田中精密工業	28
↗	↘	↗	首都圏との一体化による人の行き来の増大による地方活性化効果	チューエツ	29
⇒	↘	↗	観光・ビジネス両面での乗降客増加による地元消費活性化	津根精機	30
↗	↘	⇒	富山の観光ビジネス(食事・土産)に満足し、再訪したい人が増えること	テイカ製菓	31
↗	↘	↗	単年度だけでなく継続的な需要拡大、地方の底上げ	藤堂工業	32
↗	↘	⇒	人の動きが活発になり賑わう。但し、気候の良い時期だけか?	東邦工業	33

富山経協 新春アンケート 《回答一覧》

1

(企業名：五十音順)

アンケートの質問と回答項目

1. 2014年の景気予測

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 良くなる
- ⇒ 横這い
- ↘ 悪くなる

景気予測の内容について、
ご記述ください。

- 参考：①内閣府発表 7～9月実質GDP速報値： 年率換算1.9% (4四半期連続プラス)
②民間調査機関 10社平均の 2013年度GDP予測： 2.7%
③民間調査機関 10社平均の 2014年度GDP予測： 1.0%

2. 日経平均株価(225種・東証)予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 上昇する
- ⇒ 同程度
- ↘ 下降する

参考：2013年11月13日終値
14,567.16円

3. 対ドル円相場予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 円高となる
- ⇒ 同程度
- ↘ 円安となる

参考：2013年11月14日(東京 10:06)
99.35～99.38円

4. 原油価格(WTI)予想

(現在と1年後との比較において)

- ↗ 上昇する
- ⇒ 同程度
- ↘ 下降する

参考：2013年11月13日終値
93.88ドル

5. 北陸新幹線開通で期待すること

No.	企業名	回答者	2014年の景気予測
34	トナミ運輸株式会社	代表取締役社長 綿貫 勝介	⇒ 公共投資を中心とする景気対策にも消費税率引き上げの影響が懸念され、海外景気の持ち直しを背景とする輸出増が寄与しても、概ね横這い状況と見られる。
35	富山化学工業株式会社 富山事業所	特別顧問 富山事業所長 成田 弘和	↗ 消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から家計部門が落ち込むが、政府の経済対策や海外景気の持ち直しを背景に輸出増加が続くため緩やかに上昇する。
36	株式会社富山銀行	代表取締役頭取 齊藤 栄吉	↗ 円安・株高基調が維持される中、アベノミクスの成長戦略の芽吹きも始まり、景気が良くなることを期待。
37	富山信用金庫	理事長 山地 清	⇒ アベノミクスの下で財政刺激策と金融緩和で経済活動の回復は顕著ですが、4月の消費税率引き上げと財政刺激策及び復興支出の解除が見込まれ、成長率は鈍化。
38	富山スガキ株式会社	代表取締役社長 須垣 純夫	↗ 業種別に跛行性はあるものの、全体としては緩やかに良くなる。
39	株式会社富山第一銀行	取締役会長 金岡 純二	↗ 米国経済の拡大、日銀の異次元緩和を受けた円安・株高の進行、消費増税前の経済対策により、増税による景気減速は一時的で、着実な景気拡大が続く。
40	富山電気ビルディング株式会社	代表取締役社長 山田 岩男	↗ 財政政策と金融緩和政策で消費税率引き上げを乗り切り、大企業のみならず中小企業にも長期的、安定的な景気拡大が確信できる状況を期待する。
41	富山村田製作所	取締役事業所長 森安 勝幸	↗ 4月の消費税率増税で一旦は悪化するが、下期にかけて持ち直して、全体としては今より良くなる。
42	株式会社トヨックス	代表取締役会長 中西 清一	⇒ 日本経済は緩やかに回復傾向にあるが、製造業はリーマン前までに殆どが戻っていない。今後も国内の工場は減少し続ける。円安が定着する中、回復は難しい。
43	日産化学工業株式会社 富山工場	常務取締役工場長 大野 隆己	↗ 消費税率のアップにより一時的には悪化するかもしれないが、後半には回復し良くなるのでは。良くなって欲しい。
44	日本カーバイド工業株式会社 魚津工場	魚津・早月工場長 富川 哲志	⇒ 消費税率の引き上げによる家計部門の落ち込みと、それに伴う企業部門の低迷を、外需（海外景気の持ち直しによる輸出の増加）で補う形になる。
45	日本カーボン株式会社 富山工場	執行役員工場長 山野 智	⇒ 円安、株高など景気回復の基調ではあるが、消費税率増税のマイナス要因があり、景気回復の実感が現れるのは、もう少し先と考える。
46	日本海ガス株式会社	代表取締役社長 新田 八朗	↗ 消費税率引き上げは景気を腰折れさせることはないと思われ、公共投資や住宅投資の伸びに加えて賃上げによる景気への好循環が期待される。
47	日本海コンクリート工業株式会社	代表取締役社長 本山 信男	↗ 公共投資は各種経済対策により増加傾向を維持、民間設備投資も投資活性化税制措置等もあり底堅く推移し、景気は緩やかに回復基調を辿るものと思う。
48	株式会社日本抵抗器製作所	代表取締役社長 木村 準	↗ 消費税率増税が景気のマイナス影響となるが、その後プラスへの転換があると考えている。
49	伏木海陸運送株式会社	代表取締役社長 針山 健二	↗ 1年後には地方にも景気回復が広がり、設備投資の増大により活気が出てくると思われる。あとは原油などの原料費の値下がりも期待したい。
50	株式会社不二越	代表取締役社長 本間 博夫	↗ 国内需要の回復、および新興国をはじめとした海外景気の好転による、企業業績の改善を期待する。
51	北酸株式会社	代表取締役社長 山口 昌広	⇒
52	北星ゴム工業株式会社	代表取締役会長 米屋 正弘	↗ 消費税率アップ後は多少ダウンの可能性はあるが、政府の経済対策次第では後半は良くなると思うし、輸出も好調に推移する。
53	株式会社ホクタテ	取締役社長 酒井 正秋	↗ 海外（特に欧州と中国）は楽観視できないが、国内は円安基調が続く中、企業収益回復・雇用改善が進み、震災復興とオリンピック要因が加わり改善方向と予想。
54	株式会社北陸銀行	取締役頭取 庵 栄伸	↗ 企業の設備投資が増加し、緩やかな回復を続けるが、増税による消費の伸び悩みや、原材料高騰などの懸念材料もあり、本格化にはまだ時間を要する。
55	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	代表取締役社長 稲垣 晴彦	↗ 消費税率対応等の諸問題があるものの、資産インフレが实体经济に徐々に好影響を与えていくものと思えます。
56	北陸通信工業株式会社 富山支店	取締役支店長 新田 朋弘	↗ 消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減は出てくるが、輸出、設備投資の増加は続き、新たな経済対策の効果もあって、景気拡大は持続すると思われる。
57	北陸電気工業株式会社	代表取締役社長 津田 信治	⇒ 消費税率引き上げの影響から年度前半は景気にマイナス。財政出動による需要喚起で平準化。円安・株高の余地あり、個人消費・輸出小幅拡大を見込む。
58	北陸電気工事株式会社	代表取締役社長 松岡 幸雄	↗
59	北陸電機製造株式会社	代表取締役社長 鷹西 賢一	↗ 安倍政権第3の矢・成長戦略の早期さらなる具体化が実現すれば景気は上向く。
60	北陸電力株式会社	代表取締役副社長 三鍋 光昭	↗ 2013年に引き続き、景気が回復傾向で推移することを期待したい。消費増税により景気の腰折れを招かぬよう、切れ目のない政策が重要と考える。
61	三菱レイオン株式会社 富山事業所	執行役員事業所長 重光 英之	↗ 建設・自動車が牽引して全体として上向くと予想するが、その他の業界では横這い又は悪化の可能性が高い。いずれにしてもアジア全体の景気に左右される。
62	株式会社宮本工業所	代表取締役会長 宮本岳司朗	↗ 与党政権の安定のもとデフレ脱却の努力が進む中、消費税率増税のマイナス面はあるものの景気回復への底堅さは保たれていくのではないかと。
63	株式会社ユニゾーン	代表取締役会長 梅田ひろ美	↗
64	米原商事株式会社	代表取締役専務 米原 久晴	⇒ 増税によって個人を中心とした節約志向が高まり消費活動を減速させる。経済は次第に落ち着きを取り戻していくが景気は足踏み状態が続くと予測される。
65	株式会社リッチェル	代表取締役社長 蓮池 浩二	⇒ 消費税率5%→8%→10%、駆け込み需要後の消費回復は長引き落ち込み分はカバー出来ない。公共投資のみの経済政策では限定的、中国との関係悪化が▲要因。
66	YKK株式会社 黒部事業所	副社長 事業所長 佐々 裕成	↗ 個人消費や住宅投資に消費税率引き上げに伴う駆け込み反動減が現れるが、追加経済対策や企業の設備投資の執行で景気拡大が持続することを期待したい。

日経平均株価	円相場	原油価格	北陸新幹線開通で期待すること	企業名	No.
⇒	↘	↗	地域おこしの促進及び企業活動の多様化による経済発展に期待する	トナミ運輸	34
↗	↘	⇒	関東圏との時間的距離が大幅に縮まり知識集約型の産業振興に期待	富山化学工業 富山事業所	35
↗	↘	⇒	首都圏を中心とした域外との交流人口の増加と街の賑わいの創出	富山銀行	36
⇒	⇒	⇒	富山県への観光客の増加及び首都圏企業との連携の強化	富山信用金庫	37
↗	⇒	⇒	商業、サービス業の売上増大	富山スガキ	38
↗	↘	⇒	ビジネスチャンス拡大等による富山県経済の活性化	富山第一銀行	39
↗	↘	⇒	ビジネス、観光に多くの人々が訪れ、富山県全体が活性化すること	富山電気ビルディング	40
↗	⇒	↘	首都圏からの観光客・ビジネス客が増えて、富山が活性化すること	富山村田製作所	41
⇒	⇒	↗	富山県としては都市からの人の移動によって観光分野に力を入れていただければと思います	トヨックス	42
↗	⇒	↘	特になし。素通りをされる都市にならないように!	日産化学工業富山工場	43
↗	↘	↘	交流人口の増加並びに経済波及効果の増大	日本カーバイド工業 魚津工場	44
⇒	⇒	↘	関東へのアクセス利便性向上	日本カーボン富山工場	45
↗	↘	↗	観光客増加に伴い飲食、宿泊、土産品などを中心に売上増を期待	日本海ガス	46
↗	⇒	↗	関東地方からの観光客増加による北陸地域の活性化	日本海コンクリート工業	47
↗	⇒	↘	観光収入の増加、及び東海道新幹線の補完線としてさらに整備が進むことを期待	日本抵抗器製作所	48
↗	↘	⇒	観光が活性化して多くの人々が来県し、経済の活性化も期待する	伏木海陸運送	49
↗	↘	↗		不二越	50
⇒	⇒	↗		北酸	51
⇒	⇒	↘	観光客やビジネス客の来県増加	北星ゴム工業	52
↗	↘	↗	交流人口の増加により北陸のファンが増え観光振興に繋がる流れ	ホクタテ	53
⇒	⇒	↗	首都圏へのアクセス向上による地域企業のビジネスチャンス拡大	北陸銀行	54
↗	↘	↗	富山の新たな地域づくりの大きなきっかけとなると思います	北陸コカ・コーラボトリング	55
⇒	⇒	⇒	富山の魅力がさらに認知され、また、経済交流が活発になること	北陸通信工業富山支店	56
↗	↘	↘	首都圏との交流の活発化	北陸電気工業	57
↗	⇒	↗		北陸電気工事	58
↗	⇒	⇒	自然災害が少ないなど富山の利点が活かされ、中央と結びついた発展	北陸電機製造	59
⇒	⇒	⇒	交流人口の増加等による地域・産業の活性化、北陸経済の発展	北陸電力	60
↗	⇒	⇒		三菱レイヨン富山事業所	61
↗	⇒	⇒	富山県内はもとより北陸圏に経済効果・文化交流の活性化を期待する	宮本工業所	62
⇒	⇒	⇒		ユニゾーン	63
⇒	↘	⇒	活性化された北陸地区が日本の景気浮揚に貢献すること	米原商事	64
↗	↘	↘	人の交流、企業の交流で新たな産業の創出	リッチェル	65
↗	↘	⇒	富山への交流人口増加による地域経済の活性化	YKK黒部事業所	66

富山経協 新春アンケート 《回答一覧》

2

(企業名：五十音順)

アンケートの質問と回答項目

1. 2014年の景気予測 (現在と1年後との比較において)

- ↗ 良くなる
- ⇒ 横這い
- ↘ 悪くなる

景気予測の内容について、
ご記述ください。

- 参考：①内閣府発表 7～9月実質GDP速報値： 年率換算1.9%
(4四半期連続プラス)
②民間調査機関 10社平均の
2013年度GDP予測： 2.7%
③民間調査機関 10社平均の
2014年度GDP予測： 1.0%

2. 日経平均株価(225種・東証)予想 (現在と1年後との比較において)

- ↗ 上昇する
- ⇒ 同程度
- ↘ 下降する

参考：2013年11月13日終値
14,567.16円

3. 対ドル円相場予想 (現在と1年後との比較において)

- ↗ 円高となる
- ⇒ 同程度
- ↘ 円安となる

参考：2013年11月14日(東京 10:06)
99.35～99.38円

4. 原油価格(WTI)予想 (現在と1年後との比較において)

- ↗ 上昇する
- ⇒ 同程度
- ↘ 下降する

参考：2013年11月13日終値
93.88ドル

5. 北陸新幹線開通で期待すること

県内4経済団体合同 新春互礼会



1月6日(月)16時から富山第一ホテルで、富山県経営者協会と、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、富山県中小企業団体中央会の県内経済4団体による新春互礼会を開催した。当協会会員227名を含む430名が参加して、地域経済の発展に向けて決意を新たにした。

石澤義文県商工会連合会会長の開会の言葉のあと、高木繁雄県商工会議所連合会会長が「経済も、財政出動、金融緩和、成長戦略のアベノミクスの3本の矢により上向きに転じた。日中関係や円の動向といったリスク要因、あるいは今後新幹線開業による大手企業の進出といった地域的な課題も山積するが、行政はじめ各企業が結束して地域の発展に取り組み、ますます好循環につなげていかなければならない」と新年の挨拶をした。



石澤会長



高木会長

来賓の行政・経済団体の長16名が紹介され、代表して石井隆一富山県知事から祝辞をいただいた。

黒田輝夫県中小企業団体中央会会長が乾杯の発声をして、熱気あふれるなか賀詞交換が行われた。

当協会稲垣晴彦会長による中締めでは「ようやく景気も上向きとなってきた。この状況をいかに持続していくか、またより好循環に結びつけていくか、われわれ経営者自身が気概を持って取り組んでいかなければなら



稲垣会長



石井知事



黒田会長

ない。そしてより豊かな社会づくりに貢献していかなければならない」とし、一本締めをもって閉会した。

Keikyo 行事レポート

業務日誌

2013年 12月5日～12月17日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
議 会	環境委員会「定例委員会」	環 境	12月 5日(木)	富山経協・研修室	17名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	12月 9日(月)	富山経協・研修室	22名
	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	12月19日(木)	富山電気ビル	15名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	12月19日(木)	富山電気ビル	18名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	12月20日(金)	富山経協・研修室	15名
	IT・インフラ委員会「定例委員会」	IT・インフラ	12月20日(金)	富山電気ビル	13名
講演・見学会	環境委員会「講演会、事例研究会」	環 境	12月 5日(木)	富山商工会議所ビル	37名

総務交流委員会

■定例委員会

12月19日(木)、武内委員長はじめ15名が出席して富山電気ビルディングにおいて開催し、2013年度事業計画・実績と2014年度事業計画(案)について審議を行った。

事務局より、2013年度事業実績は、①定期調査の回答企業数が前



年を上回った、②会員交流事業は参加者数が前年を上回った、③企業理念見学会は経営企画委員会との共催により2回実施した、④県外企業見学研修会も共催で実施したが、参加者数は6名であった、⑤婚活の取り組みは、案内チラシを2月に会員企業宛発送で準備を進めている、⑥経営者勉強会は「安藤国威氏(元ソニー社長)を囲む会」を企画し、2月28日に開催で準備を進めている、2014年度事業として、①新規に、関西電力様のご協力を得て「黒部ルート」見学会を企画する、②婚活の取り組みは4月12日に「お花見ナイトパーティ」の名称で開催する、等が

報告された。

引き続き審議を行い、①年度内に緊急調査を実施する、②新しい会員交流事業を検討する、の指示を受け、2014年度の事業計画(案)は承認された。

■県外企業見学研修会

11月19~20日(火~水)、経営企画委員会との共催により、6名の参加者で開催した。

訪問先は長野県の2社で、1日目はオリオン機械(株)の太田社長から、2日目は伊那食品工業(株)の塚越会長から経営理念等についてお話を聞き、それぞれ工場内も見学した。概要は次の通り。



参加者NOTES

総務交流委員会

経営企画委員会

「県外企業見学研修会」に参加して

日本海ガス株式会社
総務部総務グループ 山崎 忠



今回は長野県の2社を見学させていただき、経営理念を会社全体に浸透させ根付かせ、社員を信頼し、また社員自らが考え行動する職場環境を作るために必要なことを教えられた2日間でした。

オリオン機械(株)様は、酪農関連機器を始め、その独自の複合技術を活かし、多様な産業機器を開発販売しておられ、さらには環境への配慮も加え、他社と同じものはやらない開発型企業としての取り組みについてお聞きしました。

同社では、社員に対して経営理念を浸透させるためだけの研修会を開催し、グループ会社全体における統一体系化を図ることを徹底して行っているとのことでした。

また、問題が発生する都度、多部門にまたがる『ワイガヤ』を実施し、社員を尊重し能力を引き出すための取り組みを行っておられ、そのプロセスにおける効果を重視しているとのことでした。さらに、技能五輪へ積極的に参加し、その先輩指導員も含め、意識的に全社員の前で「褒める」(表彰すること)を実践しておられ、このことが知識や技術の伝承に大きな役割を担っていると思いました。

伊那食品工業(株)様は、『かんでんぱば』でおなじみですが、開発型研究企業として、寒天の可能性を追求しておられ、企業として「永続」するための考え方や取り組みについてお聞きしました。

売上・利益のみを求めるが故の経費節減はせず、「必要なものは先に買う」「経費はよその会社の売上である」「安売りはしない」などといった独自の視点、また「いい会社とはすべての方々がいい会社だねと言ってくれる会社である」との言葉の通り、福利厚生の実施や雇用の維持といった社員貢献や地域貢献を通してのファン作りやブランド化の実現といった考え方は大変印象に残りました。

また、会社構内の各所に清掃・洗車用具が設置されており、社員自身の意思で自主的に清掃や洗車が実施されているなど、会社と社員相互の信頼関係が築かれているのを感じさせられました。

両社共に、会社と社員の意思疎通を積極的に図り、かつそこに相互の信頼関係を実現しようとしており、永く会社を維持継続していくための礎のようなものを感じることができ、大変有意義な機会となりました。

1. オリオン機械(株)

- ・経営理念は、「差別のない信頼の経営、一級の社会人と一級の製品づくり、全員経営と衆知の結集」。
- ・人間尊重の考えで社員に働いてもらい、経営に協力してもらうことが経営者の基本の姿勢。
(月次決算を全社員に公表、全員正社員、タイムレコーダーの廃止、部落問題の教育徹底)
- ・一級の社会人とは、①きちんと



挨拶を交わせる、②「徳」を持っている、③素直な心になれること。

- ・私は「不況待望論者」だ。当社で開発された新製品は、不況対策で生まれたものが多い。不況が来たときこそ社長が力を発揮するときだと思っている。
- ・新製品開発のコンセプトは、ニッチな分野でトップシェアを目指すというもの。
- ・10年先を見据えた経営が必要。会社を永続的に発展させていきたい。
- ・社員の採用は、社長が一番力を入れなければならないと考え、会社説明会は社長が行っている。

2. 伊那食品工業(株)

- ・社是は「いい会社をつくりましょう —たくましくそしてやさ

しく—」

- ・福利厚生面に力を入れており、43年前から全社員で海外旅行をしている。
- ・「経費節減」と言ったことがない。経費は他社の売上であり、節減するとお互いに売上を減らすことになる。
- ・社員には、必要なものを削ってまで利益を出して税金を納めなくてもよいと言っている。古い機器（自動車、機械、パソコンなど）は、極力新しいものに更新させている。
- ・経営者は常に先を読むことが大切。
- ・会社の庭園「かんでんばばガーデン」は、社員が毎朝出勤前に自主的に手入れしている。

人事・労務政策委員会

■定例委員会

12月19日(木)、綿貫委員長はじめ18名が出席して、富山電気ビルディング2階会議室で開催した。

2013年度事業について、これまでの活動を報告し、今後の活動予定として、1月21日と24日に高等支援学校訪問、1月30日労使交渉セミナー、2月17日に2月度定例委員会、2月26日労働法実務研修



会開催の案内を行った。

次に2014年度事業計画(案)について、新しい取り組みとして「人事・労務課題の情報交換会」の開

催、ダイバーシティ・マネジメント、メンタルヘルスケアのセミナー開催などを審議し、承認された。

教育委員会

■定例委員会

12月20日(金)、金岡委員長はじめ15名が出席して富山経協・研修室で開催した。

冒頭、金岡委員長から、昨年末から1年で世の中は大きく様変わりした。社員教育についても経営トップの考え方、あるいは教育担当者の考え方を変えることで、1



年間でかなり思い切ったことができる。今後も人材育成・能力開発

について忌憚のない意見交換を行い、会員企業にフィードバックしていきたいとの挨拶があった。

続いて、2014年度事業計画(案)について審議し、「新入社員・若手社員の育成～自ら考える社員を育てる～」をテーマに研究部会を設置する、階層別・職能別の講座・セミナーを今年度同様に開催する、「仕事の基本『報連相』セ

ミナー」を新たに実施することな

どが承認された。

品質管理委員会

■定例委員会

12月9日(月)、町野委員長はじめ22名が出席して富山経協・研修室において開催した。

町野委員長挨拶の後、2013年度の事業活動の報告と2014年度の事業計画(案)について審議を行った。

2013年度は、2012年度に引き続き、委員会活動の活性化をねらいに、定例委員会でのグループディスカッション、委員企業見学会の実施や講座の担当委員制実施等に



取り組んだ。講座の担当委員から行事の実施状況、気付いた点、次年度に向けた改善点等について報告があった。

事業活動報告では、特に参加人

数が減少した講座についての報告を中心に行った。

2014年度は、基本的には2013年度を引き継ぎ進めていくこととするが、新規講座として「なぜなぜ分析活用講座」、教育委員会から「ものづくりと現場改善実践塾」を移管することとした。

最後に4班に分かれ、「参加人数の減少講座の対策について」の課題を基に、活発なグループディスカッションを行った。

環境委員会

■定例委員会

12月5日(木)、三鍋委員長はじめ17名が出席して、富山経協・研修室において開催した。

三鍋委員長挨拶の後、2013年度事業活動報告と2014年度事業計画(案)について審議した。

2013年度は、従来の「幹事会」から、全委員が参加する「定例委員会」がスタートした。また、今年度から「森林保全活動」を開始し、北陸コココーラグループの「うるおいの森づくり活動」に参加した。

2014年度については、基本的には2013年度を引き継ぎ進めていくこととするが、2010年度から進めてきた「情報交換会」について、従来の形を変えて実施する方向で、委員に「アンケート」を実施し、

テーマを決定することとなった。

会議の後、高柳幹事より、不二越の「環境レポート2013」についての紹介、白江副委員長より、北陸電力(株)からの情報として、「志賀原子力発電所における津波等に対する安全強化策について」の現状報告、「富山新港火力発電所1号機リプレース計画」についての説明があった。

■県外企業見学研修会

11月14日(木)、13名が参加して、石川県小松市に赴いて県外企業見学研修会を開催した。

今回は、石川県経営者協会の協力により、無灌水・多機能屋上緑化システムを展開している(株)トーケンと、大規模な節電プロジェクトに取り組んでいるコマツ栗津工場を訪問した。



日頃から環境経営に携わっている参加者にとって、環境先端企業の取り組みを直接視察することができ、非常に有意義な1日であった。

■講演会、事例発表会

12月5日(木)、37名が参加して富山商工会議所ビルにおいて開催した。



第1部の講演会は、富山県環境科学センター生活環境課長 笹島武司氏を招いて、「省エネに配慮した排水処理施設の運転管理技術



の研究」と題し講演を頂いた。企業が所有する「排水処理施設」において、省エネに繋がり、安定かつ良質な処理水質が得られる運転管理方法についての内容で、参加者は熱心に聴講していた。

第2部の事例発表会は、今年度は、参加企業8社による情報交換会を7月に立ち上げ、約5カ月間、メンバー間で取り組み事例の紹介

や情報交換を進めてきた。その内容を取りまとめて、事例発表を行った。環境業務に携わる参加者は、



他社の省エネ事例、CO₂排出削減事例などに熱心に耳を傾け、活発な質問が寄せられた。

また、「具体的な取り組み事例を聞いた」「自社ですぐに活用したい」等の声が多く寄せられ、情報交換メンバー、参加者一同にとって有意義な事例発表会であった。

IT・インフラ委員会

■定例委員会

12月20日(金)、斎藤委員長はじめ13名が出席して、富山電気ビルディング4階会議室において開催した。

はじめに斎藤委員長より、日本海ガス(株)清水一弥委員に副委員長を委嘱した。

委員長挨拶のあと審議を行い、2013年度2月定例委員会開催に合

わせ、「中小企業が知っておくべき情報セキュリティ対策」と題してセミナーを開催することが承認された。

2014年度事業計画(案)については、ITに関する諸問題に積極的に取り組んでいくこととし、活動方針、具体的活動項目が承認され、定例委員会の開催月は、5月、8月、12月、2月とし、8月については、7~9月の間で日程調整



することした。

その後、「経営とITの橋渡し」と題して、吉田誠(株)吉田まこと事務所代表が講演した。



参加者NOTES

環境委員会

「県外企業見学研修会」に参加して

北陸電力株式会社

環境管理チーム 課長代理 山村 直之



本日は青空の見学会日和。バスに乗り込み、普段はなかなか行くことのできない石川県小松市の企業見学に向かった。

最初の訪問は、「小松精練」様。染色工場の排出汚泥の削減と有効利用を目的に、石川県特産のケイ藻土と粘土を混合して焼成した多孔質のセラミック基盤に、コケやセダム(多肉植物)を植付けたものを工場の屋上に設置し、緑化と断熱効果による省エネで、一石数鳥を図っている。遮熱効果の体感施設もあり、その優良さに驚いた。

続いて、実際にセラミック基盤

上に植生を行っている「株式会社 トーケン」様を訪問。建築総合サービスの強みを活かして、屋上緑化の企画・施工を行っている。ポイントは、一般の緑化材より軽量、灌水管理が不要、断熱効果と水分蒸発による省エネ、2m²で杉の木1本分(14kg)のCO₂削減効果があり、緑地面積に算定可能、高い防音効果、インターロッキングにも利用可能など優れた面を見させていただいた。公共施設や工場、倉庫、店舗などの鋼板屋根への施工実績は多数あり、今後の緑化や省エネのベースになると感じた。

3番目の訪問は、「コマツ粟津工場」様。主に中型機の建設機械を製造している工場。東北震災以後、電力等の削減協力が必要として、トップダウン方式でムリやガマンの省エネを行わずに作業工夫、設備改善、設備工夫等で50%省エネを進めている。省エネの根幹は、効率化、作業管理等の業務改善活動を確実に行うこととし、優良事例は廊下に掲示し、周知喚起を図っている。設備工夫の一例として、地下水とラジエータを利用した空調やエアークラウドの電動化による省エネを行っている。

企業見学は、創意工夫や積極的な取り組み事例を直接視察することができ、環境配慮や省エネ推進に参考となるなど、実りある体験となった。次回もぜひ参加していきたい。

2013年冬季賞与支給結果（最終集計）

1. 県内

前年比1.79%増加、
2年ぶりプラスに

富山経協は12月26日、「2013年冬季賞与・一時金支給結果（単純平均・最終集計）」をまとめた。集計可能な150社の支給額平均は446,926円で、今回回答のあった企業の前年同期の支給額平均（439,076円）と比べると、金額で7,850円増加、率で1.79%増加と、2年ぶりにプラスとなった。

業種別では、製造業は前年同期比2.65%増加の445,636円、非製造業は同0.94%増加の448,216円となった。

製造業では10業種中6業種で増加し、電気機械・電子部品が23.73%増加、金属製品が10.81%増加と2桁の増加となった反面、鉄鋼・非鉄金属が21.40%減少、印刷が13.33%減少と2桁の減少となった。

非製造業では7業種中4業種で増加し、建設業が23.54%と2桁の増加となった反面、電気・ガスが39.61%減少と大幅な減少となった。（表1）

（表1）県内企業の2013年冬季賞与・一時金支給結果 [単純平均]
〔最終集計—2013年12月26日〕 (一社) 富山県経営者協会

業種	社数(社)	2013年冬季支給額(円) A	2012年冬季支給額(円) B	前年同期比(%) (A-B)/B
織 維	3	481,027	456,223	5.44
印 刷	3	294,948	340,319	△13.33
化 学	13	588,936	602,797	△2.30
プラスチック製品	5	498,418	486,015	2.55
鉄鋼・非鉄金属	4	333,250	424,000	△21.40
金 属 製 品	13	385,473	347,878	10.81
一般機械器具	13	416,235	381,273	9.17
電気機械・電子部品	5	421,777	340,875	23.73
輸送用機械器具	4	615,400	558,926	10.10
その他製造業	12	385,067	399,005	△3.49
建設業	11	409,218	331,245	23.54
電気・ガス	3	486,118	804,949	△39.61
運輸・倉庫	12	359,734	330,323	8.90
情報サービス・通信	9	591,460	579,656	2.04
卸・小売	22	438,623	438,583	0.01
金融・保険	2	464,703	476,063	△2.39
サービス業・その他	16	464,835	466,377	△0.33
総 平 均	150	446,926 (528,796)	439,076 (519,320)	1.79 (1.82)
製 造 業 平 均	75	445,636 (554,745)	434,122 (527,027)	2.65 (5.26)
非 製 造 業 平 均	75	448,216 (496,875)	444,031 (509,999)	0.94 (△2.57)

(注) ①調査対象 441社のうち、集計可能な回答のあった150社の数値である。
②「B：2012年冬季支給額」は、今回「A：2013年冬季支給額」の回答があった企業の数値である。
③平均欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

2. 全国大手

159社単純平均696,465円、
前年比マイナス1.10%

日本経団連が12月26日に取りまとめた「2013年冬季賞与・一時金 大手企業妥結結果（単純平均・最終集計）」によると、調査対象の全国大手企業（主要21業種、大手240社）のうち、集計可能な159社の妥結額平均は696,465円で、前年同期の最終妥結実績（168社、704,191円）と比べると、金額で7,726円減少し、増減率でマイナス1.10%となった。

業種別では、製造業は前年同期比0.09%増加の698,113円、非製造業は同6.62%減少の688,757円となった。（表2）

（表2）全国大手企業の2013年冬季賞与妥結結果 [単純平均]
〔最終集計—2013年12月26日〕 (一社) 日本経済団体連合会

業種	2013年冬季		2012年冬季		前年同期比(%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総 平 均	159	696,465 (806,007)	168	704,191 (778,996)	△1.10 (3.47)
製 造 業 平 均	131	698,113 (810,327)	140	697,511 (769,270)	0.09 (5.34)
非 製 造 業 平 均	28	688,757 (790,118)	28	737,589 (809,831)	△6.62 (△2.43)

(注) ①調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要21業種大手240社。
②「2012年冬季」の数値は昨年の本調査の最終集計結果である。
③「平均」欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

会員の動き

(敬称略)

■ 代表者の変更

株式会社 三田商会

代表取締役会長兼社長 黒田 昭（前：黒田一紀）



カトレヤの園芸品種

表紙の花 カトレヤ

(富山県中央植物園 中田政司)

和名はヒノデラン 今ではほとんど使われることがありませんが、洋ランの女王カトレヤについての和名は「ヒノデラン」といいます。花の美しさを日の出に例えて牧野富太郎が名付けたそうですが、今回は新春初日の出に因んでカトレヤを紹介することにしました。

交雑による多数の品種 カトレヤは中南米原産のラン科の属で、この花を19世紀にイギリスで最初に咲かせたウィリアム・キャトリー (Cattley) の名前を記念して付けられました。カトレヤ属の原種は30種ほどですが、属内だけでなく、近縁のブラッサボラ属、レリア属、ソフロニティス属なども交配され、大型で色鮮やかな花を持つ人工雑種が数多く作出されており、これらの園芸品種群をまとめてカトレヤ類と呼んでいます。属というのは、科より下で、種より上の分類学上の階級名で、例えばバラ科にはサクラ属、ナシ属、リンゴ

属などがあり、リンゴとナシのように属が異なる種の間では普通は雑種ができません。ラン科は属を細かく分けすぎているのかもしれませんが。

カトレヤの栽培 カトレヤ類は靴ベラのような厚く硬い葉と円柱状の茎（偽球茎）をもち、花がなければどれも同じような形をしています。自生地では、うどんのような太い根で樹上に着生して生活していますので、栽培に土は要りません。ミズゴケやバーク（樹皮）、ヤシガラ、軽石など通気性の良いもので素焼きの鉢に植え込みます。風通しの良い、明るい環境を好みますので、生育期の夏は屋外の遮光棚で栽培し、乾いたら水をたっぷり与えます。冬は保温が必要ですが、高さが20cm以下のミニカトレヤと呼ばれる仲間では最低温度が10℃を切っても栽培可能なので、温室がなくても栽培することができます。



カトレヤの原種

人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、まっ先にご相談ください。



公益財団法人

since 1987

出向・移籍（転籍）の専門機関

産業雇用安定センター

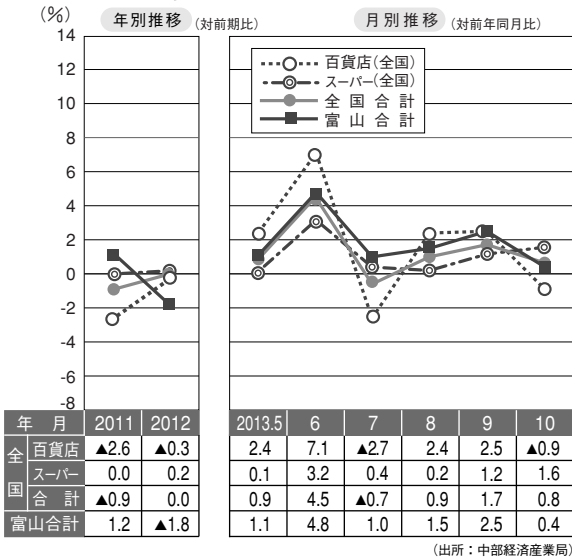
〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900

ご利用時間/9:00~17:00 (土・日・祝日は休み) FAX 076-439-2860

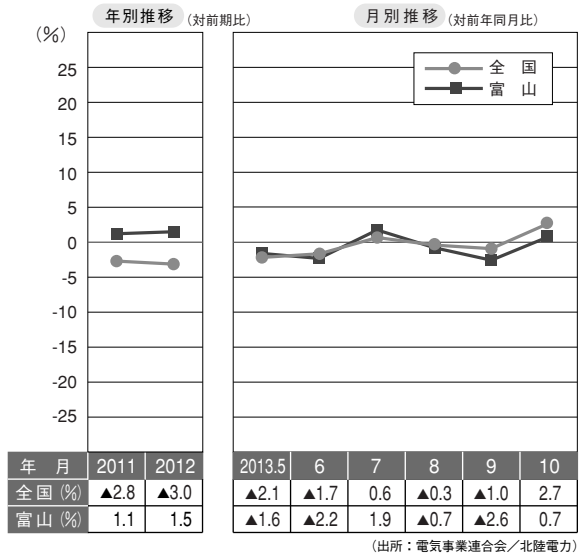
インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況指標

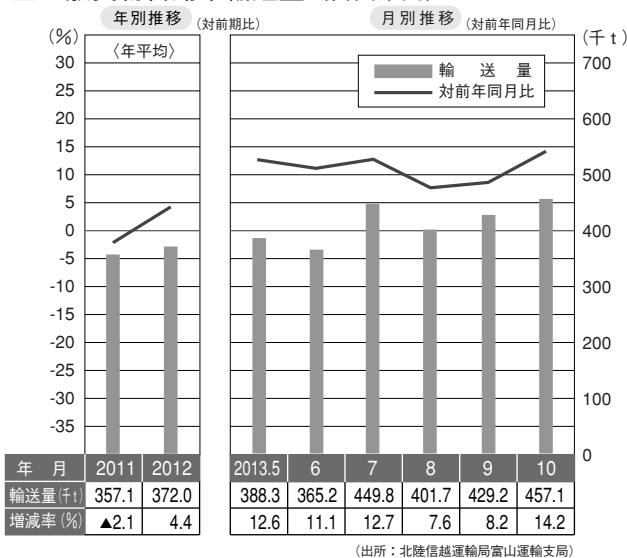
百貨店・主要スーパーの売上高



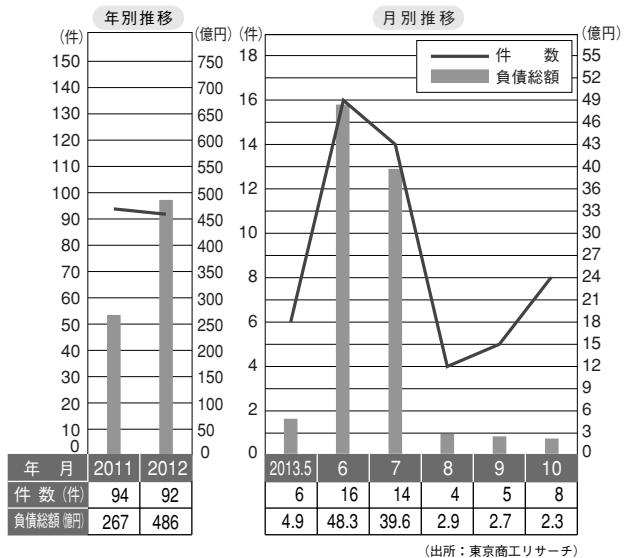
大口電力消費量 (製造業計)



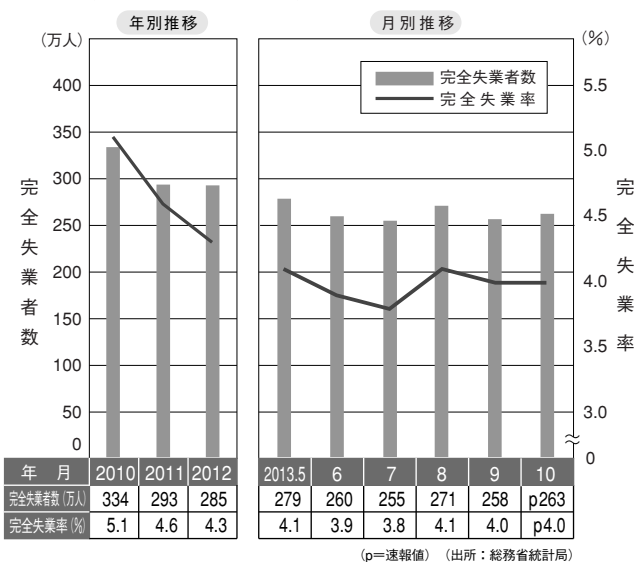
一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



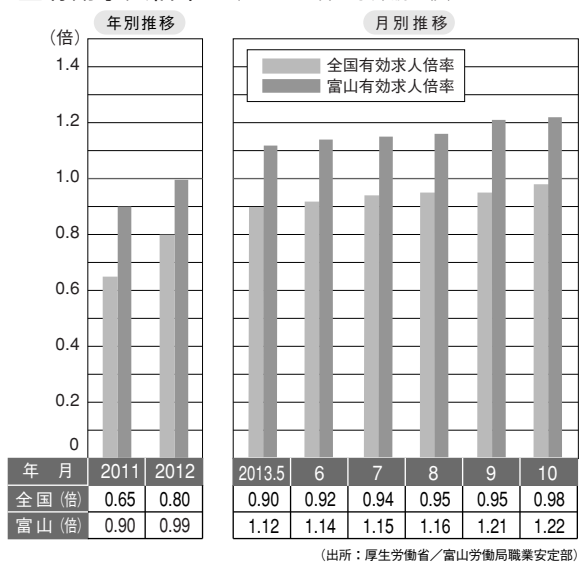
企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



2014年 新入社員 講習会

～企業人としての心構え・態度の確立と仕事の進め方～

日 時：4月2日(水) 9:30～16:30 受講料：会員 7,200円／会員外 14,400円

場 所：富山県市町村会館 2階ホール 定 員：150名(先着順)

「新入社員の皆さんに望む」

(株)ユニオンランチ 代表取締役社長 遊道 義則氏

「職場のマナー ～挨拶・言葉づかい・身だしなみ～」

(株)インテック 秘書室長／広報室副室長 稲田 恵子氏

「遭難救助に命をかけて」

前富山県警察山岳警備隊長 梶田 正氏

「企業人としての心構え ～仕事を通しての自己実現～」

マネジメント・アドバイザー 松田 勝明氏

事業予定

2014年 1月17日～4月2日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考
会 議	2月17日(月)	15:30～17:30	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	2月26日(水)	16:30～17:30	労働法関連法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	2月27日(木)	16:45～17:30	IT・インフラ委員会「定例委員会」	IT・インフラ	富山経協・研修室	
	3月3日(月)	11:00～	2014・連合富山役員と富山経協役員との懇談会		ANAクラウンプラザホテル富山	
	3月3日(月)	16:30～	理事会		富山電気ビル	
	3月3日(月)	17:00～	幹事会		富山電気ビル	
講 見 演 学 会	3月11日(火)	14:00～16:00	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	藤堂工業(株)	
	1月21日(火)	13:30～15:00	富山高等支援学校見学会	人事・労務政策	富山高等支援学校	
	1月24日(金)	13:30～15:00	高岡高等支援学校見学会	人事・労務政策	高岡高等支援学校	
講 座 ・ セ ミ ナ ー	1月22日(水)・29日(水) 2月5日(水)・19日(水)	9:00～17:00	品質管理入門講座<応用編>	品質管理	富山経協・研修室	
	1月30日(木)	13:30～15:30	2014年労使交渉セミナー	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	2月18日(火)・19日(水)	9:30～16:30	係長・主任実践コース	教 育	富山県市町村会館	
	2月21日(金)～22日(土) 3月12日(水)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教 育	富山県農業総合研修所	
	2月26日(水)	13:30～16:00	労働法実務研修会(第4回)	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	2月28日(金)	15:00～17:45	経営者勉強会「安藤 国威氏を囲む会」	総務交流	富山経協・研修室	
	3月4日(火)	9:30～16:30	購買管理実践コース	教 育	富山商工会議所ビル	
	3月6日(木)	9:30～16:30	CS顧客満足基礎セミナー	教 育	富山経協・研修室	
	3月13日(木)	13:30～16:30	改善力養成講座～応用編～	教 育	富山商工会議所ビル	
	4月2日(水)	9:30～16:30	2014年 新入社員講習会	教 育	富山県市町村会館	上記「おしらせ」参照

「富山経協」vol.810

2014年(平成26年)1月号
2014年1月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)

TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>Eメール info@toyama-keikyo.jp